

■審査委員長よりコメント

審査委員長を務めた森ミドリさんから下記のコメントをいただきました。

【森ミドリ審査委員長の総評】

この夏は、オリンピック・パラリンピックの応援で、更に暑い夏となりましたね。その中で、想像力を働かせたことも多々ありました。

昔はアクセサリーをつけて競技に臨む人は殆ど見かけませんでしたが、今は、ピアスあり、ネックレスありの人が結構多くいるのですね。大切な人からのプレゼントかしら？なにかゲンを担いでいるのかしら？と思い巡らすのもなかなか楽しいものでした。

ネットを見ていましたら、「アクセサリーがないほうが、もっと早く走れるのでは？」という問いに対し、「あるからこそ、集中力が湧くのでは？」という意見もあり、つい、微笑んでしまいました。

スポーツにおいては、つけてもつけなくても、そのひとが一番リラックスできる状態になることが一番、ということなのでしょうか。

今年もたくさんのご応募をありがとうございました。クスッと笑えることは、なによりの心のクスリになるような気がします。どうか、これからも「川柳なる日々」をお過ごしくださいますよう。

【上位入賞者へのコメント】

まずは金賞の伏見ゆき子様、おめでとうございます。

愉快的なシーンが容易に想像できて、とても楽しい作品でした。うちにも颯(リップ)というネコがいますが、本当に揺れるものには、容赦なく飛びついてきますものね。それよりも、ついでに(?) ひっかかれませんでしたか？

そのほうが心配です。

ネコちゃんが題材となった金賞なのですから、美味しいものをさしあげてくださいね。

続いて銀賞の富田用介様、おめでとうございます。

瀬戸大也、青山瑠美依…それこそ、キラキラネームの登場ですね。小沢真珠(まじゅ)という女優さんがいますが、目が真珠のようだからとつけられた芸名だとか。私の大好きな、直木賞作家の出久根達郎さんの奥様は、最初、お名前を伺った時、真珠を反対にした名前です。はい、珠真子(すまこ)です、と言われて、まあ、ステキと叫んでしまいました。

富田さんには、雅音都(ガーネット)と大也(ダイヤ)のペンダントが届けられるのですね。さて、どなたの胸を飾るのでしょうか。

そして銅賞の鮎川由紀子、おめでとうございます。

「金でなくてスマセン、悔しい！」と、大泣きした柔道の吉田沙保里さんを思い出します。

卓球の福原愛選手に言わせれば、銅は金と同じと書くのだから、だそうで。

老い（おい）と追い（おい）の遊び。そして、～なの、という可愛らしさが気に入りました。

お会いしたいくらいです。ミルクーターコイズは心をフーツとやわらかくしてくれる、夢の色。素敵なサプリメントで、どうかますます美しくお健やかに過ごしてくださいね。

森ミドリ